

このまちの100年

「福井」

福井の中心部における本格的な街づくりは安土桃山時代の柴田勝家の築城に始まりました。寛永元年に福居(のち福井)へ改称。明治14年、福井県が誕生すると県庁がおかれ、行政・経済の中心地となりました。



昭和10年頃

福井市中心部。路面電車の後ろに、現在の三井住友信託銀行福井支店の建物が見える



昭和10年頃

明治29年に開業した北陸本線の福井駅



昭和初期

本町通り。中央右奥が百貨店のだるま屋(現在の西武福井店)で、その先に福井駅がある



昭和30年代

大名町交差点のロータリーから福井駅方面を望む。中央大通りは戦災・震災復興で建設、ロータリーは昭和38年に撤去された



昭和30年代

福井空襲で被災し、昭和32年に再建された福井神社



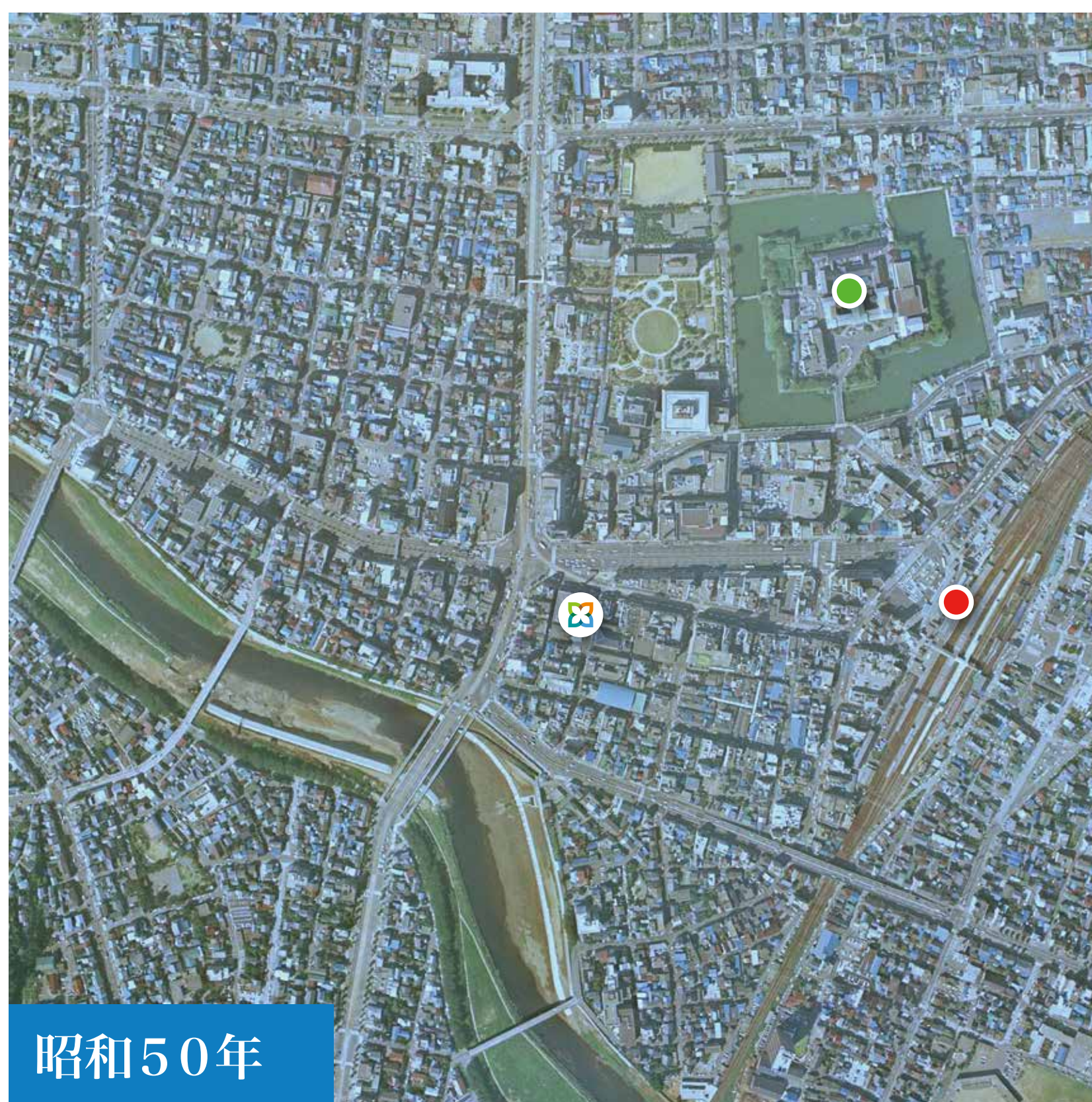
昭和30年代

昭和28年に改築された三代目福井駅。多くの路線バスが見える

上空からみた福井エリア



昭和23年



昭和50年



平成20年

📍：現在地
●：福井県庁 ●：福井駅

出典：国土地理院「地図・空中写真閲覧サービス」(一部加工)

編集：株式会社コロマチ